

# 亡き友に全力誓う

## 奥州選抜 チーム

# 頂点見据え猛練習

## 県民体 6人制バレー

7月2日から奥州市を会場に、県民体バレーボール競技が開幕する。江刺一中バレーボール部OBが中心の奥州選抜チームは昨年、男子6人制の部で準優勝。ことしも昨年以上の活躍が期待されているが、東日本大震災ではメンバーの親族が亡くなり、さらにことし4月、江刺一中時代の仲間、小原拓也さんが21歳の若さで急逝。立て続けに襲った不幸にチームはまた深い悲しみの中にある。「こんなときだからこそ優勝したい」。気持ちを一つに猛練習が続いている。



奥州市選抜チームは平均身長180センチ超。高順位に輝いた。攻守のバランスのよさとチームワークが魅力なチームを目指し、のチーム。昨年は決勝で強敵・盛岡市に敗れ

たものの合併後では最も高順位に輝いた。今季はさらに攻撃的なチームを目指し、サーブを強化。早さに対応できるブロック、

高校はバレーボールの強豪校・不来方高校に進学。卒業後は地元江刺の子どものためのバレー指導も行っていた。仲間内で「県民体

コンビバレーのバリで一緒にやろう」と声エーションを増やすなど練習に励んできた。4月に急逝した小原さんは、05年に江刺一中が県中学選抜大会優勝、県中総体準優勝時の主力メンバー。都道府県対抗中学バレーボール大会の岩手選抜メンバーに2年連続で選ばれ、3年次には主将を務めた。

チームの後藤一臣キャプテン(29)は才能ある仲間の死を残念がりながら「地元で自分たちが優勝することで盛り上げたい」と表情を引き締める。優勝するための練習を重ねてきた自信もある。「仲間のために優勝したい」。胸の中にある熱い気持ちは結果で示すつもりだ。



県民体・男子6人制バレーに出場する奥州選抜チーム

コンビバレーの練習に励むメンバーたち